

山行報告

★小沢岳・清掃登山(12月6日)

参加者 会員(障害者2名、健常者5名)

今朝、家を出るときは、すばらしい星空だった。三日月もよく見えた。

高崎線の車窓からも浅間山がよく見える。今回は、レンタカーを借りて七久保橋まで行く。計画では、タクシーで坊主淵まで行き、そこから林道を歩く予定だったが、行ってみると舗装道路だったので、往復で足を痛める可能性があり、大変助かった。運転していただいたKさんに感謝です。

車の中から見た青倉川の対岸は、迫力ある垂直の岩壁になっている。七久保橋の先で車を置いて、歩き始める。ここからは未舗装の林道だ。日が当たらないために、非常に寒い。



ゴミ袋を持って山を登る

今日は、登山道のゴミを拾う清掃登山。軍手をして、ゴミ袋とトングを持って歩く。大きなゴミは拾えないが、登山者が落とした小さなゴミが時々落ちていたので、それを拾いながら歩く。山の斜面に白い棒のようなものがたくさん

立っているのが見える。林道を上っていくと、白い棒の帯に着いた。そこが柵峠だった。白い棒は、植林したばかりの小さな杉の木を、鹿の食害から保護するために、網をかけたものだった。



山頂から浅間山と裏妙義の山々を望む

柵峠からは、植林帯の上の尾根を歩く。小さな杉の林の方はとても見晴らしが良い。雪を抱いた上越方面の山も見える。その後は、植林帯で展望は良くない。何度かアップダウンを繰り返す。



小沢岳山頂にて

小沢岳は、西上州のマッターホルンと言われる山だが、登山道の様子からは全く険しさはない。山頂直下に少し急坂がある程度だった。し

かし、山頂に着くと、すばらしい展望と共に、足下から切れ落ちていることが分かる。子どもたちに縁には行かないように注意する。



山頂からは、近くの妙義山や西上州の山々と、浅間山、北八ヶ岳、南八ヶ岳の一部などが見える。上越方面は低い木が邪魔してよく見えなかった。今回は、少人数のため、Kさんにうどんを準備してもらった。子ども2人を含む6人だが、うどんは9玉。そんなに食べられないと思

★景信山・忘年山行(12月19日)

参加者 会員(障害者2名、健常者7名)
会員外(健常者1名)

今日は、忘年山行だ。大きな事故もなく、今年最後の山行を迎えられたことは、とにかくありがたい。多くのみなさんの協力に、ただただ感謝です。

16人の参加予定だったが、直前になって6人がキャンセルになってしまった。忘年山行にしては淋しいが、久しぶりに参加する方もいて、いつもどおり和気藹々と歩き始める。

車道から急な登山道を登る。日影はとても寒い。日が当たるところはぼかぼかしている。いつもながら太陽のありがたさが身に染みる。

今年の新人で、年間9回参加したKMさんが、Aさんのサポートをして登っていく。若い人たちに、どんどん力を付けてもらって、これから

ったが、なんとしっかり食べきってしまった。準備はたいへんだが、寒い季節はうどんなどを昼に作って食べると暖まってとても良い。ただ、少人数で楽な山行でないといけないことだが。

下山は登ってきて道を引き返す。後ろから歩いてきた3人は、途中から古い林道を歩くことにした。前に行くメンバーを途中で追い越す。この道は速いが歩く人が少なく、茨の多い道だった。

林道も下りは早く、30分ほどで車まで戻ることができた。Kさんに運転していただいて、来た道を引き返す。 記：網干

コースタイム

七久保橋(10:20)… 櫛峠(10:50-10:55)… 小沢岳(11:55-13:05)… 櫛峠(13:50-14:00)
…七久保橋(14:30)

の山仲間アルプを託したいものだ。



尾根に上がり、気持ちの良い道を登っていく。植林帯の多い道だ。さらに登って、小下沢への分岐に着く。ここでは休憩せず、山頂を目指す。ジグザグの道になるが、次第に空が近づいてくる。階段が出始めると山頂は近い。

左手には、大山をはじめとした丹沢の山々が見え始める。都心の高層ビル群やスカイツリーもよく見えている。今日はすばらしい天気だ。

トイレを過ぎ、山頂のすぐ手前にある景信茶

屋に行く。今日は、ここで餅つきをするため、予約をしてもらっていた。テーブルには、「KSさま周辺休憩所」と書かれた紙が貼ってある。茶屋に着いたことを伝え、テーブルで待っていると、小屋の方が蒸された餅米を持ってきて、臼に入れてくれる。さあ、餅つき大会の始まりだ。



山頂での餅つき

まずはこねることが大切なんだとMさん。少しこねた後は、餅をつき始める。本当は、こね5割、つき5割くらいが良いらしい。とにかく餅つき体験、全員が餅をついてみる。全盲のAさんも、障害のあるMちゃんはお父さんと一緒に杵を持ってつく。良い思い出になったのでは？



景信山山頂にて

今回は、きなこおろしを準備した。どちらもつきたての餅と合ってとてもおいしい。どんどん食が進む。しかし、今日はキャンセルの人が増えてしまって、10人で1升の餅は食べきれない。近くを通った登山者や子どもに声をかけて食べてもらう。みなさん、思いがけないごちそうを喜んでいた。私たちは、おなかごと

も重くなった。超満腹だ。

食後は、山頂に行って集合写真を撮る。賛助会員のKRさんも今日は初サポートを体験する。すばらしい展望を楽しんで、小仏峠へと下る。

とにかく腹が重くて、全然消化していない。小仏峠からまっすぐ小仏に下る予定だったが、早く着きすぎると思い、城山方面に行き、日影に下ることにする。



スカイツリーがよく見えた

少し登り返して、ずっと登山道で下る。腹に全ての血液が行ってしまったようで、とても眠い。途中で、休憩したら、眠り込んでしまった。でも少し寝たらばっちり目が覚めた。

久しぶりのMちゃんは下りに少し苦勞している。滑りやすい落ち葉をわきによけてあげたりしながら、みんなで協力しあって下って行く。このあと忘年会があるが、予定時間より少し遅れそうなので、林道に下りてからすぐに電話で連絡した。



山頂から見た富士山

日影発16:40のバスに乗り込み、高尾駅に向かう。高尾駅では恒例の忘年会。いつもど

おり、しっかり盛り上がり、今年1年の登山を締めくくった。

記：網干

★大楠山(1月9日)

参加者 会員(障害者1名、健常者5名)

2016年最初の登山は、三浦半島の最高峰大楠山です。最高峰と言っても標高は242m。高尾山の半分以下。しかし、山頂からは、相模湾越しの富士山を始め、箱根や伊豆半島、丹沢山塊、都心方面、東京湾、房総半島、三浦半島先端部と大島、広い太平洋まで一望できる。気候的にも温暖で、新年最初の山としてふさわしい山のように感じる。

品川駅の集合場所で待っていたら、参加予定ではなかったIさんが現れる。少人数だけだけに大きなサプライズだった。しかし、京浜東北線が人身事故で遅れ、埼玉から来るKBさんが心配になる。集合時間には遅れたが、連絡を取り合い、新逗子駅には次の電車で到着した。



新逗子駅からバスに乗り、大楠芦名口で下車。簡単な自己紹介をして歩き出す。しばらくは車道を行き、途中から舗装道路が終わり、林道となる。このコースは山頂直下まで林道だった。昨年、新人賞と障害者部門の最多参加賞を受賞したI君は、絶好調だ。笑いながらどんどん歩いて行く。

コースタイム

小仏(10:40)…景信山(11:55-13:25)…小仏峠(13:55-14:00)…日影(16:25)

菜の花が咲き、ジョウビタキのヒッヒッヒという声が聞こえる。山頂近くになると、フユノハナワラビかオオハナワラビか分からないが、穂を伸ばしていた。



登山道となった階段を登っていくと、大楠山の山頂に到着する。地元の子もたちも来ていて、山頂は賑やかだった。すぐに展望台に上って、写真を撮る。360度の展望が得られる。一番期待した富士山は、コントラストが弱くなっていたが、相模湾越しに、雲を従えて佇んでいた。房総半島の富山や東京湾方面、丹沢や江ノ島もよく見え、大島もうっすらと見えていた。



昼食後、M君が私の手を引いて展望台に向かう。私と腕を組み、もう一方の手で手すりを持って、一番上まで登った。高所が苦手なM君、頑張った。

下山は、前田橋への登山道となる。こちらは
大楠芦名口からのコースと違い、ずっと登山道
が続く。久しぶりの参加で心配されたKBさん
とKMさんも問題なく下山してきた。

10年前に忘年山行で前田橋から往復した
大楠山。下山路を歩きながら、ここでこんなこ
とがあったなと思ひだし、最後のバス停前で、
たき火をしながら忘年会をしたことが思い出
された。 記：網干

《参加者の感想》

2016年初山行は好天に恵まれ、大楠山頂
上での昼食は、相模湾と、童謡通り『頭を雲の
上に出し〜♪』の富士山を見ながら、の贅沢な

★岩戸山(1月17日)

参加者 会員(障害者2名、健常者7名)

遠い下田の高根山と寝姿山を止めて、もう少
し近い熱海にある岩戸山に変更した。昨日は、
すばらしい天気だったが、今日の天気は下り坂。
富士山が見られるかどうか、期待と心配する気
持ちの両方を持って熱海に到着。青空が広がっ
ていて期待が高まる。先に来ていたKさんが、
足湯にみんなを誘う。まだバスの時間まで時間
があるので、足湯に入ることにする。足がぼか
ぼかして気持ちよい。



バスに揺られて標高を上げていくと、富士山

一時となりました。

展望台からは、房総半島、伊豆半島が一望で
大変、気分が良かったです。(揺れているのが
分かったとたん、手汗をかきましたが…苦笑)
写真のアップが楽しみです。

高所苦手な息子ですが、Aさんが付き添って
くださって展望台登頂成功！今日一番嬉しか
った事だそうです。

今年も、山から、「嬉しい」「楽しい」などの
『幸せ感』をたくさんいただきたいと思います。

記：F.Iさん

コースタイム

大楠芦名口(10:05)…大楠山(11:15-12:15)
…前田橋(13:30)

が目に飛び込んできた。この時期にしては非常
に雪が少ない。見晴らしの良い十国峠のバス停
で下りる。珍しいマタタビの実やイナゴを売店
で買う。



登り口はどこかと地図を広げてみたら、登り
口は一つ前のバス停で下りなければならなか
った。車道に戻ることはしなかったので、
ケーブルで上がることにする。登り着いた十国
峠はすばらしい展望。富士山はもとより、箱根
の駒ヶ岳もよく見える。沼津アルプスや西伊豆
方面、そして天城山方面も見えている。

今日は登りが非常に少なく、多くが下りとな
る。登山ではなく、下山だ。舗装道路を下り、
広い山道に入って歩く。歴史の道らしく石仏が

たくさんある。細い竹もたくさん生えている。

熱海駅は少し暑いくらいだったが、山に上がるとさすがに寒い。日差しもないので、さらに寒さを感じる。振り返ると富士山も雲に隠れ始めていた。



十国峠の草原と富士山

ようやく登りが始まり、少し頑張ると岩戸山の山頂に到着する。山頂からは、熱海の町や東伊豆方面がよく見える。初島も見えていた。温かいカップラーメンやEさんからいただいたコーヒーで体が温まる。M君は今日も絶好調だ。笑顔が絶えない。Mさんも笑顔が多く楽しんでいる様子。

山頂からの下りは、少し急で、登りよりは厳しい。M君はIさんがサポートし、Mさんはいつもの通りお父さんがサポートする。急なところを過ぎ、檜の植林帯などを過ぎていくと、車道に飛び出す。このまま湯河原まで歩く予定だったが、バス停に着くと5分の待ち時間で熱海行きのバスが来る。全員一致で、バスで帰ることにする。

★雲竜溪谷(1月31日)

参加者 会員(健常者4名)

会員外(健常者1名)

金曜日から土曜日にかけて雪が降り、日曜日は数日前まで雨後曇りだった。実施できるか心配だったが、当日はすばらしい天気恵まれた。東武線の車中から男体山や女峰山がよく見え

天気は確実に悪化の方に進んでいるが、雨に降られることはなく、富士山を眺めることができて、楽しい一日でした。 記：網干



《参加者の感想》

熱海の駅前の足湯で、挨拶代わりにの会話に笑顔が溢れてからのスタート、仲間がいる事に心も温まりました。

今日の富士山はとても近くて、青く綺麗で…見ているだけで幸せになりました。低山らしい、穏やかな山行で、魅力的でした。また、来月も楽しみにしたいと思います。

息子は足湯が一番良かったそうですが、足が温まった効果！終始絶好調♪次の山行への期待に繋がっているようです\(^o^)/

記：F.Iさん

コースタイム

十国峠ケーブル駅(11:30)…岩戸山(12:25-13:10)…日本 IBM 熱海ゆとりうむ前バス停(14:20)

ている。

日光駅で土浦から来たKRさんと合流して、タクシーに乗る。雲竜溪谷のゲートまでお願いしたいが、チェーンを巻きますかと聞かすが、巻かないという話し。巻かなくても行けるんだと思い出発する。

メイン道路は雪が溶けて普通に走れるが、林道に入るとしっかりと雪が積もっている。すで

に林道の入り口から歩いている人達もいる。

しばらく行き滝尾神社を過ぎるとすぐに渋滞している。車の行き違いに時間がかかっている様子。しかし、ここは何とか無事に通過。もう少し行くとジグザグの上り坂になる。運転手さんは、ここがポイントだと言うが、チェーンなしで登れるんだろうかと不安になる。案の定、坂の途中でスリップして動けなくなる。運転手さんは、ここで下りて歩いて行ってくれと言う。私たちは、歩いて行すが、タクシーの後ろには車が何台も続いている。あとは、運転手さんに任せて出発することにする。



しっかりとしまった雪道を歩く。車が数台止まっている駐車場を過ぎ、さらに少し行くとゲートがあった。ゲートにも2台ほど止まっている。ゲートは二つあるが左側のゲートを越えて、林道を上っていく。最初のつづら折りを過ぎ、次のつづら折りを上る。次第に展望が良くなり、これから目指す雲竜溪谷の上にそびえる女峰山が見える。振り返ると麓の町も見えている。しかし、稜線付近には雲が出始めた。

私が持っている2008年版昭文社の地図よりも林道は長く伸びているようだ。トイレのある休憩所を過ぎると沢へと下りていく。雲竜溪谷の黒い岩が行く手に見える。沢の石には雪がふっくら積もってマシュマロのように見える。崖からわき出た水がづららとなって凍っている。

今日はとにかく人が多い。ツアーの団体も何組かあったようだ。沢に入ってから少し行った

ところで、アイゼンを付ける。Kさんのアイゼンが靴に合わなかったが、工具がないので、ひもで結ぶだけにして歩いてもらうことにする。



すぐに下りになるが、まずここで渋滞。さらに沢を渡って登りにかかるところで渋滞。初心者の人が多いからだろうか、少し急な登りも下りも渋滞になってしまう。このままでたどり着けるんだろうかと心配になってしまう。



少し登っていくと、すばらしい氷瀑帯が現れた。ピッケルのピックを打ち込んでみる。がちり決まる感触が心地よい。さらに行くと氷柱でアイスクライミングをしている人がいた。トプロープだが、そのセットのためには、その上の氷壁を登ったんだと思う。もう私にはできないことだ。

さらに少し行くと雲竜瀑があるではないか。ここが終点だったのだ。今年は、やはり氷の発達が少ない。もっとびっしり氷柱があると思っていた。まあ、ここで昼食とする。先に着いた3人の若者は、ちゃんこ鍋を作るという。いいねえ。



昼食を食べていると、上で悲鳴のような声が聞こえたと思うと、雪の塊がいくつか落ちてきた。上を見ると、誰かが滑って木の幹で止まっている様子。そのうち下りてくると思っていたが、なかなか下りてこない。お昼を食べてから、ロープとソウンスリング、カラビナを持って上がってみる。女性が怖がっていたが、そのパーティーで下りられるので大丈夫とのこと。それなら戻ろうかなと思ったが、別の男性が上に腰が抜けた人がいるので行って欲しいとのこと。上がってみると、大きな木の根元において、下りられずにいる男性がいた。私自身のセルフビレーを取り、彼の腹にソウンスリングを巻き、ロープで確保して下りてもらう。すぐにスリップしてロープに荷重がかかる。ロープがなかったら15mほど落ちて大けがしたかも知れない。それでも、急坂を下りトラバースに入ったところで、ロープを外してもらう。無事に下りることができたようだ。

下りてきたら、ちゃんこの3人組が感心していた様子。携帯パンフレットを渡して、すかさ

★房州アルプス(2月7日)

参加者 会員(障害者1名、健常者6名)

積雪や雨で過去に2回中止になった房州アルプス。今回は、好天に恵まれて実施できる。内房線の車窓から、真っ白に雪化粧した富士

すPR。ロープを持っていたおかげでちょっとした人助けができて良かった。

私たちは、集合写真を撮ったあと、氷柱の裏に行ってみる。気温が高いので、つららなどが落ちて大丈夫なように、つららの下を避けて素早く行動する。大氷柱の横には雲竜瀑もよく見えていた。



登りは時間がかかったが、下りは早い。あっという間に稲荷川展望台に着き、タクシーを呼ぶ。そこから30分ほどでゲートに到着。ちょうどタクシーが上がってきてくれたところだった。

溪谷に入ってからはずっと曇りだったが、下りてきたら晴れ上がってきて、再び女峰山がよく見える。午後の方が陰影があつてきれいに見えた。お疲れ様でした。 記：網干

コースタイム

滝尾神社(8:55)…雲竜溪谷(11:15)…雲竜瀑(12:30-13:25)…林道(13:50-14:05)…ゲート(15:05)

山が浦賀水道越しに見える。多くの荷物を積んだ船も多数行き交っている。そんな風景を見ながら保田駅に到着。今回は、上総湊駅から行く予定だったが、タクシー手配の関係で、保田駅集合に変更した。予約したタクシーに乗り込んで、林道鹿原線入り口に向かう。さらに林道を車で上がることもできたが、予定通り林道を歩

くことにする。



車窓から見た東京湾越しの富士山

天気は良いが風が強く冷たい。早々に歩き始める。体が温まった頃、登山口に到着。「まつと遠足クラブ1年さくら組」の名前がついたかわいい道標が迎えてくれる。

今日もM君は絶好調。楽しそうに歩いている。山道はとても歩きやすい。ほぼ尾根を忠実に辿っている。途中で東京湾がよく見えるところがあったり、鹿野山方面が見えるところがあった。鹿野山方面が見えるところでもしかしたら、露岩のテラスだったのだろうか？ 登山道にはほとんど道標がないので、よく分からないまま進む。



落ち葉の登山道を歩く

歩きやすかった登山道も、痩せ尾根で木の根っこが張り巡らされたところを通過する。実は、ここはすでに房州アルプスの最高峰、無実山を過ぎたところだった。その後、ジグザグに下る登山道を通過し、外傾して滑りやすいトラバース道を行っているとき、2人の登山者がいたので、道は間違っていないと思ったのだが、その登山者も、山頂が分からないまま通り過ぎたよ

うで、この先はすぐに終了点の林道だと教えてもらった。Kさんが持っている山ログのアプリで現在地を確認すると、登山道上にいるものの、無実山は通り過ぎてている。



山頂を踏めなかったけど、ミカン畑にて

みんなで引き返すのは止めて、暖かい場所でお昼にしようということになり先に進む。ミカン畑に着くと、一部分だけあたたかな日が差し、風もないところがあった。そこで昼食タイムとする。動物の糞だらけだが、できるだけ踏まないようにシートを敷き、昼食を食べる。M君は、カメラをもって歩き回っている。ここで集合写真を撮り、下山することにする。



M君が撮った夏みかん

民家の犬が鳴き、水仙が咲くミカン畑を通り過ぎ、林道を下っていく。イノシシ狩りだろうか、狩猟の人たちが登っていく。

消防団機庫のある車道に到着して、タクシー会社に予定より早く来てもらうように依頼する。道路から志駒川に下りてタクシーがくるのを待つ。今回は、知らないうちに山頂を通過してしまったので、またいつか計画してリベンジをはかりたい思いを胸に、タクシーに乗り込む。

記：網干

《参加者の感想》

往路の車窓からは、東京湾をはさんで見事な富士山。綿帽子をかぶって大変美しい姿を見せてくれました。アルプスと名のつく山々からの景色も楽しみにしていたのですが…また来てね、と誘われていると思うことに致します(^_^);

標高は低いながらも片側や両側がきれいでいる登山道に、息子は真剣！集中！緊張感をもって進んでいました。地図上の頂上には到達せず

★幕山(2月28日)

参加者 会員(障害者5名、健常者7名)
会員書(健常者1名)

天気予報では、今日は比較的暖かくなると言っている。しかし、家を出るのは日の出前。まだまだ寒い。

今回は、多くの人が現地集合。新宿駅に集まったのは私とKさんだけなので、すぐに発車する電車に乗り込む。



梅が咲くこの季節、湯河原から幕山公園行きのバスが頻繁に出ている。Kさんから、舗装道路を30分歩くより、バスで幕山公園まで行った方がよいのではないかと提案があり、車道歩きは嫌いな人が多いので、その方がみんな喜ぶだろうと思い、提案を受け入れる。

とも、充分、達成感を得られたようです。

暖かな陽ざしと水仙、ミカン、早咲きの桜、梅の花、メジロのお喋り…春は近いなあ、と感じた幸せな1日でした。アップされる写真からも春の香りが感じられそうで、楽しみです♪

記：F.Iさん

コースタイム

林道鹿原線入口(9:50)…登山口(10:30-10:40)…ミカン畑最上部(12:00-12:50)…消防団機庫(13:30)

みんな予定の電車で到着し、バスで梅林に行く。梅の咲くこの季節は、梅林に入るには200円の入場料が必要。梅林の中を通らないと幕山に行かれないので、入場料を払って中に入ることにする。



今回は、お試し参加のYさんや今年初めて参加する人もいたので、いつものように自己紹介をして出発する。

梅林の梅は満開を過ぎていると思うが、まだまだ美しい。岩場で岩登りのトレーニングをしている人たちもいる。梅の枝にはメジロがたくさん止まっていて、花の蜜を吸っている。

今回は、梅林から直接幕山に登る急登コースをやめ、時間はかかるが大石ヶ平を経由する傾斜の緩いコースに行くことにする。

梅林を抜け、舗装された道を緩やかに上る。新崎川の橋を渡ると、そこが登山口となる大石ヶ平だ。少し休憩して登山道を上っていく。

今日は日差しが暖かく、Y君は半袖の山仲間アルプのTシャツを着て歩いている。KちゃんもアルプのピンクのTシャツを着て来た。白いフリースのウサギの帽子は暑いと思うのだが、好きなものは暑さも寒さも関係ない。全く暑くないという。



日だまりの中を気持ちよく歩く

南郷山への分岐を過ぎると幕山の山頂はすぐそこだ。山頂に着くと座る場所を探すのに苦労するくらいの満員状態。それでも場所を確保して昼食タイムとする。展望はあまり良いとは言えないが、少し東寄りに行くと真鶴半島方面や伊豆方面が見える。



幕山山頂にて

昼食後は来た道を引き返し、分岐から自鑑水を経由して南郷山へ向かう。背の高い笹が尾根を覆い、その下につけられた登山道を忠実に歩く。

南郷山に着くと、Iさんがお湯を沸かして紅茶を振る舞ってくださる。M君も手伝って、紙コップに入れた紅茶をみんなに配ってくれる。

南郷山から少し東に下ると海側の展望が良い。湯河原の町もよく見える。ゴルフ場の脇を

巻くようにして歩く。電流を流しているらしい線が張られているので、子どもたちに触らないように注意して、下って行く。



雄のジョウビタキ

舗装道路に出たが、これがまた非常に急だった。膝やふくらはぎへの負担が大きい。それでもようやく鍛冶屋のバス停に到着。先頭がバスの発車時間ぎりぎりに着いた状態だったので、バスの運転手さんは待ってくれなかった。45分後の次のバスを待つより、少し歩いて幕山公園からのバスに乗った方が良いという意見が多く、5分ほど歩いて宮渡橋まで行く。この選択が良くて、バスがすぐに来た。

記：網干

《参加者の感想》

予想通り以上に観光客で溢れかえっていた湯河原駅…。幕山公園に入園して、納得です。

白梅や紅梅があたたかな陽の下で輝いていて、春霞のように見えました。

登山客も多く、圧倒されましたが、南郷山からの下山はアルプ貸し切りの登山道!真鶴半島が眼下にくっきり見え、道の脇には、ミカン畑に河津桜、沈丁花…里山の春を満喫できました。長男は大好物のミカンを何個食べていたのやら^_^;

体全体で春を感じた一日でした。アップされる写真で余韻にひたりたいと思います♪

記：F.Iさん

ひさしぶり 元気でしたか? 湯河原に着くと 何と梅祭りの開催中で混雑してしまし

た。でも丁度満開でうっとり……。

途中少し道に迷うが 無事山頂に到着。ここも混雑。でも 青い空に 遠くに海が見えてなかなかの風景でした。久しぶりに 皆さんともあえて おいしい紅茶もいただいて 良い日でした。 記：F.Iさん

コースタイム

幕山公園(10:10)…大石ヶ平(11:05-11:15)
…分岐(11:55-12:05)…幕山(12:20-12:55)
…南郷山(13:45-14:05)…鍛冶屋バス停(15:35)

※笹子雁ヶ腹摺山が雨天のため中止となり、高根山・寝姿山は参加者不足のため、もう少し近い岩戸山に変更して実施しました。

ハイキング報告

★第44回ふれあいハイキング（滝山丘陵）（2月21日）

参加者 会員(障害者3名、健常者6名)

Kちゃんが出産後初めて赤ちゃんを連れて参加してくれた。リーダーとしてどのようにサポート体制を組めばよいか道は大丈夫か下見から当日まで皆さんがとても協力していただいて当日を迎える事が出来た。お母さんが一人で5時間も背負うのは、大変だろうと思い我が家にあった背負子を持参することにした。これが大活躍。



山道を歩き始める

昭島駅からタクシーで20分位で登山口に到着。そこで声出しをした。もう小さい天使は、

皆の心を独り占め、ばあばあとじいじいは、久しぶりのあかちゃんに大はしゃぎ、兎に角背負子に入れて出発。

最初が今日一番の階段登り、背負子が意外に重く肩に食い込む。早々に交替して順番に背負い訓練訓練といいながら歩きはじめ階段を上りきると落ち葉で埋め尽くされた静かな道。しばらく行くと眼下に八王子市街が遠くに見える。何だかいつもの感じとちょっと違う雰囲気、赤ちゃんがいるだけで自然と皆の顔が微笑み優しさに包まれる。



滝山城址のお濠を眺める

40分程歩くと分岐になりしばし休憩、これから先が道が広がり桜の木が点在してくるあたりから城址らしいお濠や二の丸・三の丸など

名称が現れてほどなく中の丸跡地で昼食休憩
広くトイレもあり、市街地が見渡せる。Iちゃん
は、お母さんをゆっくり食事させて上げよう
とお昼寝に入ってくれた。なんて親孝行な子供
なんだろう。



中ノ丸にて

昼食後本丸へ出発。神社があり、そこからは、
苔の生えた石坂を下り農道へとつながってい
く。途中でフキノトウを持っているやさしいお
じさんに会い、ちゃっかりいただいてきた。
後ろを振り返り関根さんが下りてきた本丸の
方を見てやっぱり要塞だなあって歴史を感じ
た瞬間だった。牛小屋の香りが終わるあたりか
ら多摩川の支流の秋川の堤防にぶつかり川沿
いを歩く時々葦の中から野鳥が飛び立ちびっ
くり。高そうなカメラを持った叔父さん達が何
人も構えていたので何を待ってるんですか？

個人山行報告

★赤岳(12月26日～27日)

参加者 会員(障害者1名、健常者2名)

☆12月26日

この週末は冬型気圧配置が強まるため、太平
洋側の気候である八ヶ岳も影響を受けて吹雪
く可能性もあるが、行って見て判断するしか
ないので予定通り実施することにする。

時々大鷲などがみえるんだよっていったけ
ど、本当は、時間つぶしだよと言って大笑い。
でもシラサギなど名前は、わからないけど多
くの野鳥が見られるようだ。東秋川橋を渡り川
とお別れ駅に向かってあともう少し。住宅街を
抜け駅へと着いた。全員の協力でKちゃんの
希望を叶えて上げられた事に本当に感謝です。
Kちゃんの勇気と受け入れる事を容認してく
れた山仲間アルプの底力に乾杯！これからも
応援していくよ。

記：中村(浩)



農道のお地藏さん

コースタイム

滝山台バス停(10:20) … 滝山台登山口
(10:40) … 古峰ヶ原園地(11:00-11:30) … 中
の丸跡地(12:00-12:30) … 滝川城址跡地(本
丸跡地)(13:00) … 東秋川橋(14:00) … 東秋留
駅(14:30)

今回の個人山行は4人で行く予定だったが、
1人が急遽行かれなくなったため、3人で行く
ことにした。好天の茅野駅からバスで美濃戸口
に入り、登山計画書を提出して出発する。

まずはいつもの林道歩き。全く雪がない。し
かし、一部凍っているところもあるので、注
意は必要。登るにつれて雲が厚くなっていく。車
で美濃戸まで入る人も多いようだ。美濃戸山荘

を過ぎると少し雪も出てくる。視覚障害のあるKRさんは、アイゼンを付けて登る。滑らなくなるので歩きやすいという。

堰堤広場で休憩して、登山道に入って行く。さすがにここまで来ると一面の雪景色になるが、積雪は非常に少ない。アイゼンを付けているKRさんには、もっと積雪がある方が歩きやすいのだが、少ないために足を取られ苦勞している。途中から、ザックにロープを付けてつかまって歩いてもらう。

赤岳鉱泉に着くと、アイスクャンディーでアイスクライミングを楽しんでいる人たちが大勢いる。私たちもやってみるつもりだったが、16時で終わりになるということなので、時間が足りないため、止めることにする。

赤岳鉱泉の奥にある休憩室で、いつもの団らんの時を楽しむ。NPO 法人日本マウンテンツアー・コンダクタ協会の方やプロガイドの方など多くの方と一緒に山の歌などを楽しむ。



赤岳光線の前で

☆12月27日

明け方、外に出てみると、どんより雲が垂れ込めて、視界があまり良くないようだ。気温は-2℃程度で、厳冬期にしては非常に温かい。

出発は遅くなってしまうが、小屋のあたかな朝食を食べてから出かけることにした。予定より1時間近く遅い出発となる。

積雪は少ないが、周囲の樹氷はきれいだ。中山乗越まで登り、行者小屋で休憩する。玄関先にかけて「おでん」と書かれた赤い提灯が誘惑するが、トイレだけ済ませて出発する。

トレースはしっかりとできている。急な階段が連続する文三郎道を登っていく。まだほとんど無風だ。下山してきた人が、上は強風だったことを教えてくれる。一瞬霧が晴れて赤岳西壁の一部が見えたが、すぐに霧に隠れてしまった。



文三郎道の階段を登る

長い階段を登り、ちょっとした広場のところでロープをつないでコンテで行くことにする。年々視力が低下しているKRさんは、苦勞しながらも鎖につかまって登ってくる。あまりにも急すぎて、ザックに付けたロープを持って登ることは難しい。私が確保しているロープを頼りに登ってきてもらう。



赤岳と阿弥陀岳の分岐にて

次第に風が強くなり、中岳との分岐へのトラバースにかかる。ここではまだ風は弱かったが、分岐に到着すると、耐風姿勢を取らなければよろめいてしまうような強風が吹いていた。時間的にも厳しくなってきたので、今回はここで引き返すことにする。2人の写真を撮ろうとするが、風上側を向いているため、風と共に舞い上げられた氷の粒のような雪が、顔に当たって目を開けていられない。それでも何とか写真

を撮って下山にかかる。ほんの少し下っただけで、風はそよ風になる。

登りでは靴擦れが痛かったKRさんも、下りは痛まず、順調に下ることができた。行者小屋が近づいてくると、日が当たっている麓の方が見えてきた。やはり麓は晴れているようだ。



横岳の大同心、小同心

行者小屋で昼食タイムとする。休憩していると、青空が広がり始め、中岳が見えるようになり、続いて阿弥陀岳も見えるようになる。さらには横岳の大同心方面も見えるようになり、日も当たるようになってきた。なかなか山頂が見えなかった赤岳も、完全に姿を現した。山頂には立てなかったが、この景色を見られただけで大満足だ。樹氷も真っ青な空に映えて、とてもきれいだ。

行者小屋から南沢を下って行く。しかし、このコースは途中から林道になる北沢と違って、石の出っ張った道が長く続くため、KRさんはとても苦労している。私のザックに付けたロープにつかまっているが、とても歩きにくい。アイゼンを付けていると、いろんなところにアイ

ゼンが引っかかり、転倒することが多くなる。アイゼンを外せば滑ってこれまた転倒の連続だろう。下りには多くの時間がかかった。山頂をあきらめて、早めに下ったことが正しい判断だったようだ。

神経と体力を使ったKRさんはへとへとになって美濃戸山荘に到着した。ここまで来ればもう安心だ。美濃戸山荘の方は、お茶と野沢菜を無料で出してくれる。何もお金を使わず、申し訳ないが、今回も甘えさせていただく。空はすっかり晴れ上がり、真っ白な阿弥陀岳が高くそびえていた。

林道をどんどん飛ばしていく。そして、ようやく美濃戸口に到着する。バスの発車まで1時間ほどあるので、ハケ岳山荘で休憩する。昨日一緒に歌ったプロガイドの方たちも休憩していた。

最終のバスに乗り、茅野駅に向かう。すぐに眠りについたが、途中、目を覚まして振り返ると、南ハケ岳の山々が、アーベントルートにきれいに色づいていた。記：網干

コースタイム

12/26 美濃戸口(11:15)…美濃戸(12:10-12:45)…堰堤広場(13:35)…赤岳鉱泉(15:20)

12/27 赤岳鉱泉(7:55)…行者小屋(8:35-8:40)…中岳分岐(10:20)…行者小屋(11:35-12:00)…美濃戸口(15:30)

その他事業報告

★臨時総会開催

来年度の事業計画を決める臨時総会を1月16日(土)に開催しました。

議案は、異議なく承認されました。詳細は、臨時総会議事録を参照願います。

☆活動紹介映写会&第10回自然と親しむ子ども山登り教室説明会開催

活動紹介映写会及び第10回自然と親しむ子ども山登り教室説明会を2月27日(土)14時

から八千代市総合生涯学習プラザ多目的ホールで開催しました。

会員以外の方にアンケートをお願いし、3人の方から回答をお寄せいただきました。その結果は、下記の通りです。

1. 映写会の案内がある以前にNPO法人山仲間アルプをご存じでしたか？

- a. 良く知っていた 0
- b. 名前だけは知っていた 3
- c. 全く知らなかった 0



2. お住まいはどちらですか？

- a. 八千代市内 3

3. 今回の映写会があることを何で知りましたか？

- a. 広報やちよ 3

4. 本日の映写会に参加されて、山仲間アルプの活動内容をご理解いただけましたでしょうか？

- a. 良く分かった 2
- b. 何となく分かった 1
- c. 良く分からなかった 0

【理由】(自由記述)

- ・自然の美しさ、険しさ、子供たちへの心遣い etc、まばたきも忘れて見とれていました。

5. 山仲間アルプの活動をどのようにお感じになりましたか？(自由記述)

- ・あまり無理をしないで皆さま、楽しんでいらっしゃるよう見受けました。

各種連絡事項

▲定期総会開催します

第13回定期総会を下記の通り予定しています。

場所：八千代台東南公民館 和室

日時：平成28年5月29日(日)
14:00~15:00

議案書と詳細は追ってお知らせしますので、ぜひみなさまのご参加をお願いいたします。

△1%支援制度に2016年度も支援金を申請しました。

2016年度も「親子で目指そう富士登山(自然と親しむ子ども山登り教室)」のスタッフの交通費などの支援金を申請しました。八千

代市在住のみなさまは、ぜひご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

▼登山知識及び技術向上コースの鳳凰三山を唐松岳に変更します

3月19日～20日に計画していた登山知識及び技術向上コースの鳳凰三山ですが、冬のテント泊は厳しく、参加人数が少ないことやテ

ント数が足りないことから、小屋泊まりで登れる北アルプスの唐松岳に変更して実施します。

会員情報

●退会のお知らせ

残念ですが、12月以降、下記の方が退会されました。(敬称略)

2名

編集後記

・理事長のつぶやき

このところ、登山やハイキング等の参加人数が少なく、寂しい状況が続いています。それぞれの事情があり、都合がつかなかったり、山に行ける状況ではない方も大勢いると思います。今後は、会の計画を縮小して実施することも検討する必要がある状況にきています。

登山などは当然遊びの範疇ですので、生活が最優先となります。生活や体力等に余裕がなけ

れば、遊びにお金や時間は使えません。

そのような状況の中で、今後の山仲間アルプの運営や活動をどうしたらよいか、会員のみなさまに考えていただきたいと思っています。

次の定期総会では、ぜひ多くの会員に集まっただき、一緒に考えていただきたいと思っています。

・次回発行予定は、6月です。

参加申し込みやお問い合わせは事務局まで

〒276-0022 千葉県八千代市上高野 1161-1-208

NPO 法人山仲間アルプ事務局 網干 勝

TEL.047-484-8308

障害の有無も、年齢も、男女も関係なく、みんなで山を楽しみたいね。自然は、誰に対しても平等だよ！！

